



西中だより

No.13 R3.3.17 文責：中野宗利

学校目標：自他の「いのち」を尊び、主体的に学び・行動する生徒の育成
～基礎・基本の定着を図りながら～

◎第41回卒業証書授与式 55名が巣立ちました！おめでとうございます！

3月5日（金）にPTA会長 永清逸郎様、保護者様のご臨席のもと、第41回卒業証書授与式を厳粛な中に執り行うことができました。今年度は、コロナ禍のため在校生、来賓の参加を自粛して開催しました。

式辞では、「様々な行事が感染防止対策のために制限を受けましたが、その中で、3年生が工夫を凝らしながら精一杯、各行事に取り組んでくれたこと」、そして、「自分を変えようとするのが成長につながる。」「4月からの新たな環境は、自分を変える絶好のチャンスです。何かに挑戦してほしい。」と伝えました。また、答辞では、前生徒会長 中野空夢さんが、裏面の通り、思いをしっかりと話してくれました。卒業生の今後ますますの成長を期待しています。



◎おめでとうございます！受賞者の紹介です。

- ★漢字検定 2級取得 藤川直太郎（2年）
- 準2級取得 野崎嶺而郎（2年）
- 3級取得 平石 芽生（2年）
- 4級取得 熊本 陽菜（2年）
- 7級取得 網田 琥心、小松原美咲（3年）



◎校納金の口座振替への移行について計画しています。

本校では、これまで、給食費やPTA会費については地区集金又は個別持参、教材費などの学年会計については生徒持参という形でした。しかし、コロナ禍の中、集金に行くことへの抵抗感があったり、以前から生徒持参に係るお金の紛失の不安があったりしました。また、職員の業務軽減も考え、口座振替への変更を考えております。PTA常任委員会では、すでに了承をいただきましたので、4月のPTA総会で承認いただければ事務手続きを進め、令和4年度から口座振替を実施したいと思います。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、校納金の未納対策については、現在も児童手当等からの補填を全家庭から了承していただき対応できています。また、口座振替の金融機関については、唐津信用金庫のみと考えています。理由は、振替手数料及び管理費が無料であるためです。唐津信用金庫に口座をお持ちでない場合は、開設していただく必要があります。お手順をおかけしますがよろしくお願いいたします。

◎今後の主な行事

- 3月18日（木） 1, 2年生校外体験学習（波戸岬少年自然の家）
- 3月22日（月） 授業参観5校時、希望保護者個人面談
- 3月24日（水） 修了式、辞任式
- 4月 6日（火） 令和3年度第1学期始業式、赴任式
- 4月 9日（金） 第42回入学式



答 辞

春の暖かな日差しが感じられ、校庭の木々の芽もふくらむ季節となりました。そんな今日という良き日に、私たち55名は数えきれないほどの思い出が詰まったこの西唐津中学校を卒業します。新型コロナウイルスの影響で開催も危ぶまれる中、先生方や在校生を始めたくさんの方々のご協力のもと、卒業式が行えることを嬉しく思います。また、保護者の皆様、私たちのために足を運んでいただきましたことに、心からお礼申し上げます。

3年前の春。真新しい制服に照れながらも、少し大人に近づいたような気がした入学式。言葉にならないたくさんの感情で、胸がいっぱいだったことを思い出します。何もかもが初めてだった1年生。そんな私たちを引っ張ってくれた先輩。思い返せばとても大きな存在でした。

2年生に進級し、私たちも先輩と呼ばれるようになりました。部活動では3年生の思いを引き継ぎ、引っ張っていく立場となり、目標に向かって練習を重ねました。みんなで喜びと悔しさの両方を分かち合ったことで、少しずつ先輩としての自覚が芽生えたように思います。そして、2学期の職場体験学習では、働くことの厳しさ、そして親の偉大さを知りました。これからも変わらない学校生活が続くと思われた矢先、新型コロナウイルスが流行し、私たちの日常は一変しました。3年生を直接見送ることができないまま、私たちも最上級生となりました。全てが例年通りとはいかない中過ごした一年間。毎日がかけがえのないものとなりました。

7月。公式戦がほとんど中止となった中で迎えた中体連。顧問の先生や仲間、保護者と共に、3年間で培った技術やチームワークを精いっぱい発揮しました。時には辞めたいと思った人もいたでしょう。しかし、中体連を終えたときには辞めたいなど思っていたことがばかばかしく思え、部活動を引退しなければならぬという悔しさがこみ上げ、たくさんの涙を流しました。仲間達と流した涙は決して忘れることができないものとして、胸に刻まれています。

9月の体育大会。応援団やバック絵担当者は夏休みから準備、練習を頑張りました。初めはなかなかまとまらず、毎日不安を抱えていました。しかし、本番では各団それぞれが団結し、応援合戦や全員リレーなど各競技に懸命に取り組み、半日とは思えない充実した大会となりました。

11月の文化発表会では全員で力を合わせ、映画「花咲く庭を」を創り上げました。堂々とした演技や細部までこだわったシールアート。仲間との絆を再確認することができました。

出会ってから9年、そばにいたことが当たり前だと思っていた友達。私たちはこんなにも大切な宝物をいつの間にか見つけていたからこそ、今日まで頑張ってきたんだと思います。バカげたことをしてみんなで笑い合ったり怒られたりするの今日が最後だと思うととても寂しく思います。今思えば何気ない日々がとても大切だったんだと感じました。今日を境に別々の道を歩き出しますが、私たちはこれからもずっと友達です。今まで本当にありがとう。

在校生の皆さん、先輩として一つアドバイスです。これから悩み事が増えていくと思いますが、一人で決して悩まず相談しましょう。この学校には親身になって相談に乗ってくださる先生がたくさんいます。周りの仲間と協力して、ますます良い西中を創り上げて下さい。

今まで私たちを時には厳しく、そして優しくご指導してくださいました先生方。本当にお世話になりました。今日まで先生方にかけていただいた言葉の数々は私たちの心の支えとなりました。

そして、お父さん、お母さん。いつもは照れくさくて言えませんが、この場を借りて言わせてください。いつも困らせたり心配かけたりしてごめんなさい。そして、今日まで育ててくれてありがとう。これからもまだまだお世話になると思いますが、よろしく願います。

「人は誰だって一人で生きていくことはできない」この3年間で私たちに教えてくれたことです。私たちはいつでもどこかで誰かに支えられてきたということは今、ひしひしと感じています。3年間なんて長い人生の中では一瞬かもしれないけれど、その時々を一生懸命生きたこと。この思い出はきっと一生忘れられないでしょう。

実は、今この場に立っていても、僕は卒業を実感できません。本来なら、ここにいる仲間や先生方と過ごせる時間はもっとありました。しかし、新型コロナウイルス感染症の猛威が私たちの前に立ちました。もっと仲間と顔を合わせて話したかったです。先生方に叱られながらも勉強を教えてもらいたかったです。西中を卒業したくありません。しかし、今日、また少し成長するときです。一日一歩ずつでも進んでいかなければならないのです。明日から、夢と希望と勇気を胸に、自分の足で道を探し、歩くために、私たちは卒業します。

中学3年間、そして15年間、私たちを大切に育ててくださった全ての方々へ感謝し、皆様のご健勝を祈りつつ、答辞とさせていただきます。

令和3年3月5日 卒業生代表 中野空夢